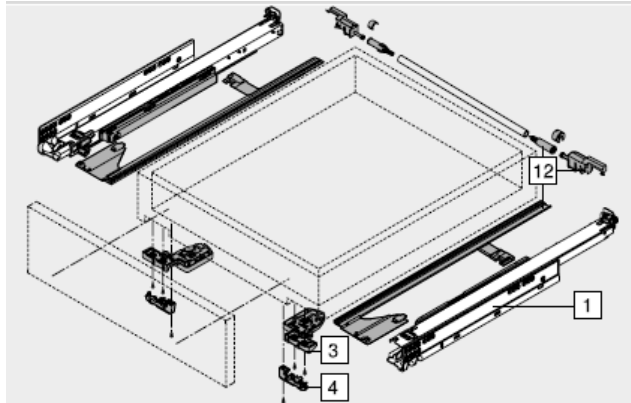


モベントレール 760H 組み立てかた

1. 必ず必要なセット

引出レール左右1組①と着脱クラッチ左右1組③は必ず必要です。

④の奥行調整ユニット(内引出のみ使用可)、⑫のサイドスタビライザーはオプション設定です。



2. レールの長さを選ぶ

キャビネットの奥行内寸次第で使用するレールの長さが異なってきます。長さ 450mm のレール 760H 450 を使用するにはレールの長さ+3mm の 453mm の内寸が最低必要です。

引出側板の厚みは 15mm か 16mm にしてください。

3. 引出の長さ決め

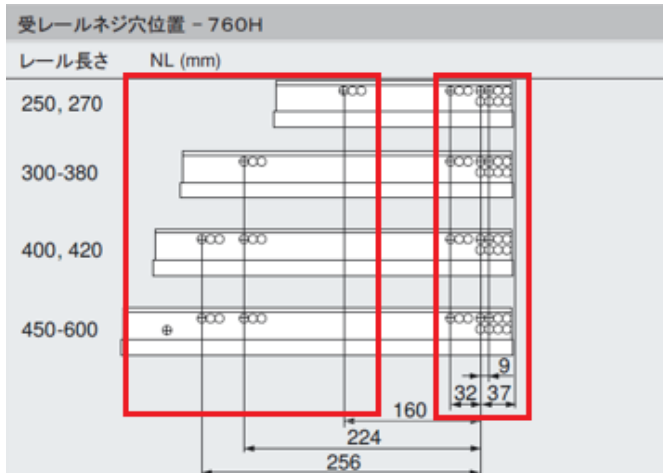
引出の長さはレールの長さマイナス 10mm にしてください。

例：760H450 の場合は $450-10=440\text{mm}$

内引出の場合 $450-10+X(\text{前板厚さ})$

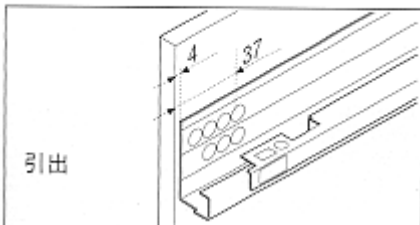
取付寸法		引出/内引出用		引出		内引出用	
キャビネット内に必要なスペース							
* キャビネット上に直接受レールを取り付ける場合は、さらに +1mm としてください	SKW 引出内寸幅	LW 引出の内寸幅	SKL 引出の長さ	NL レール長さ	ISKL 内引出の長さ	SKL 引出の長さ	NL レール長さ
	** 引出の内寸幅の公差によっては、引出側板 16mm の場合、前板の左右調整が制限されることがあります		* サイドスタビライザー使用の場合、さらに +12mm		X 前板厚さ	* 奥行調整装備の場合、さらに +3mm	

4. 受レールを側板に止める（側板には芯材があり、十分なネジ保持力を有することを確認ください）正しい位置にレールが水平になるように取り付けてください。ネジはφ3.5またはφ4mm、長さ15mm以上のものかφ6mm、長さ14.5mmのシステムネジで手前のネジ群のうち任意の2か所、奥のネジ群のうち任意の2ヶ所、合計4ヶ所を止めてください。



* 防虫パッキン等をお使いの場合はその厚み分だけレールを手前側に取り付けてください。

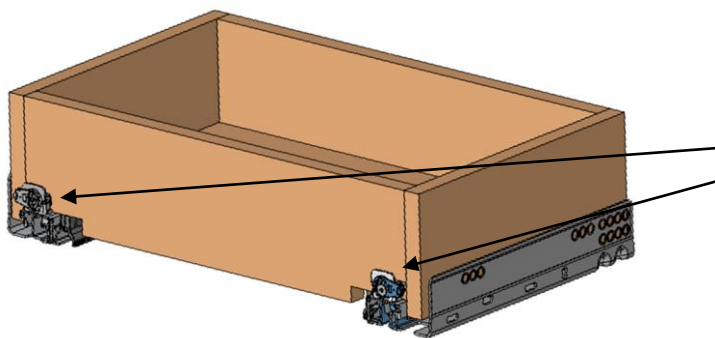
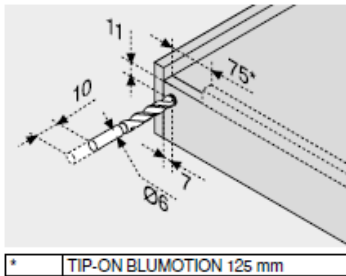
取付位置



キャビネット側板前面から 4mm 離してネジ止め

引出の加工

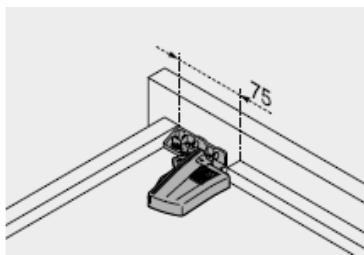
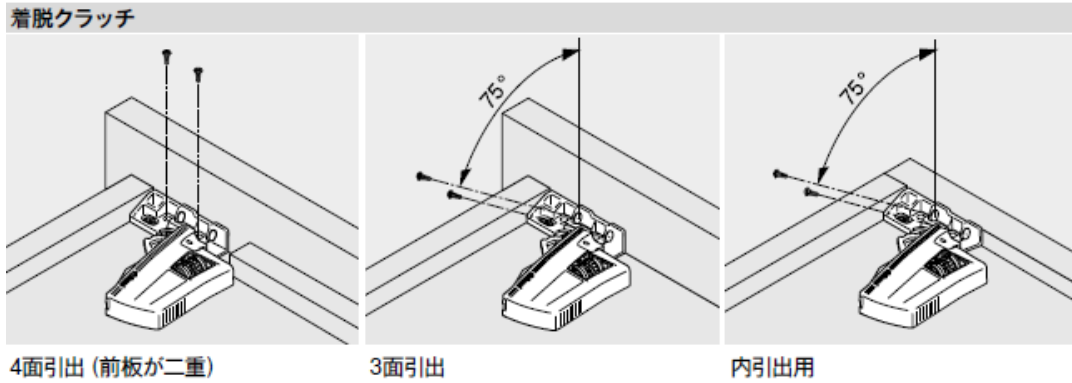
引出先板（背板）裏左右にφ6mm、深さ10mmの穴を開けます。



後部固定フックが引出後ろのフック穴に入ります

着脱クラッチの取付

着脱クラッチは引出のはずれ止めと引出前板の高さ調整に必ず必要です。
引出底板と側板、前板に当てて引出前板か底板にネジ止めしてください。

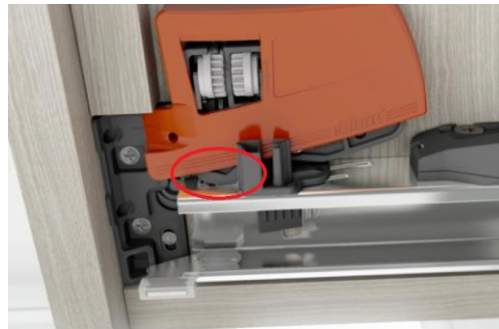
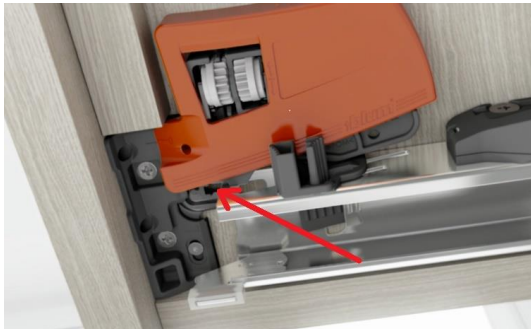


いったん4面組にして、更に引出鏡板を取り付ける場合は
左のように75mmの切り欠きが必要です。

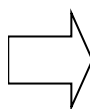
レールの先端が着脱クラッチの爪と噛み、ダークグレーのプラスチックガイドがレール側部にはまりしっかり止まります。引出底板はネジ止めする必要はありません。

噛み合う前(プラスチックガイド)

噛んだところ

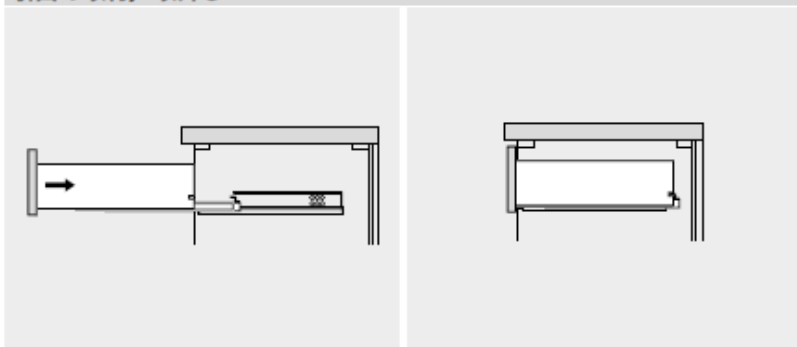


着脱クラッチは引出の裏に左右1ヶずつ付けます。
※タンデムレール用の着脱クラッチはモメントには使用できません。



引出の入れかた

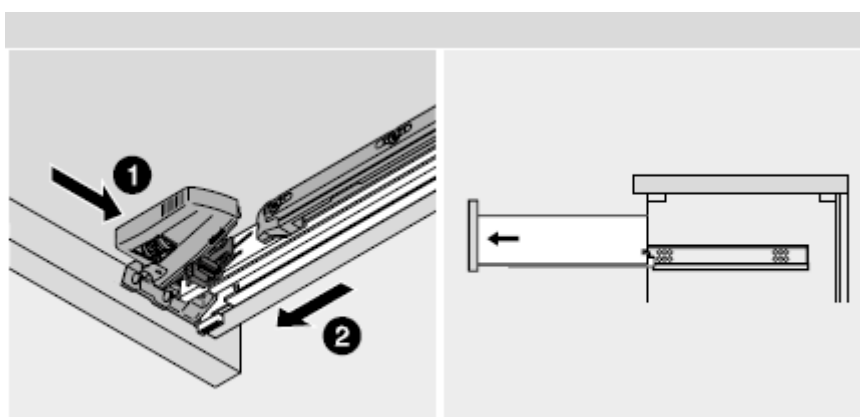
引出の取付/取外し



取付

引出をレールにのせて押すだけです。カチャという音を確認してください。

引出のはずしかた

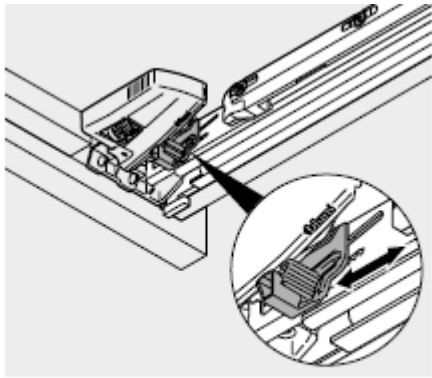


取外し

引出の裏に付いている左右の着脱クラッチのオレンジ色のレバーを同時に外側へ押し出すと引出が外れます。

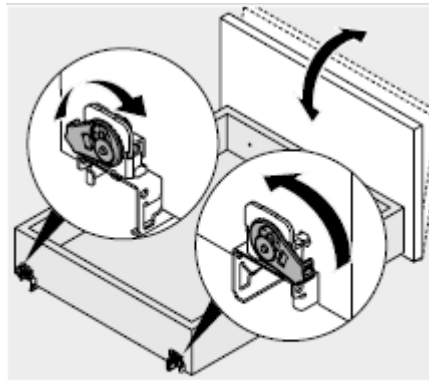
調整

前板の高さ調整（レバーを引く）



上下調整
+3 mm

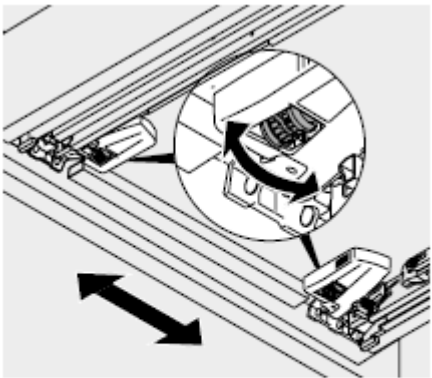
前板の傾き調整（レール先端のレバーを回す）



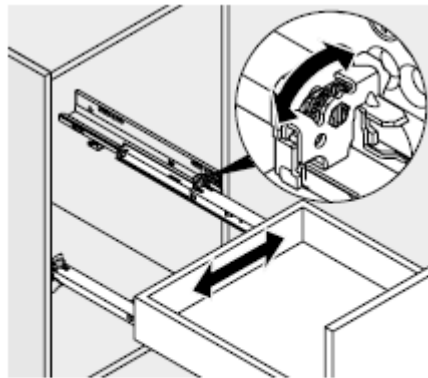
傾き調整

左右調整（着脱クラッチのダイヤルを回す 右側レール奥のダイヤルを回す）

※引出側板 16 mm、引出仕上がり公差がプラスの場合、前板の左右調整が制限される事があります。

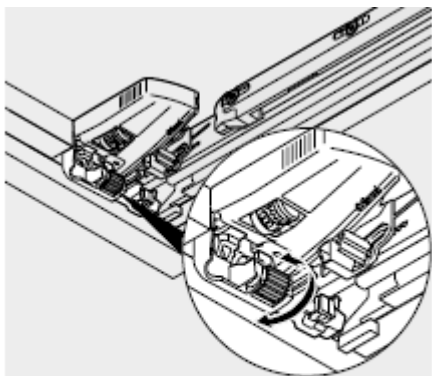


左右調整
両側の着脱クラッチで行なう
±1.5 mm



左右調整
右側レールの後部で行なう

奥行き調整 ※オプション設定、内引出のみ使用可



奥行調整
奥行調整 298.7600 あり
±2 mm